経営をよりよくしたい経営者様へ

経営カイゼンつうしん

今回の
テーマは
設備投資
その5

vol.25

1. 時間という魔物の正体

前回、ご紹介した時間という魔物。。。

この正体は、金利であります。
もうちょい正確に書くと、
会社であるがゆえ、株主が求めるリターンと、金利とのコンビネーションです。

これを、割引率っていいます。

株主だって、配当金がほしい。
金融機関だって、金利がほしい。
ということは、毎年、これらの支払いを加味しないと、計算がずれてしまいます。

稼いだキャッシュ・フロー全部が、会社に残るわけではないからです。

そこで、このコンビネーションたる割引率で、時間という魔物を推し量ろうというわけです。

なので、
この割引率を上回る投資でないと、会社に現金は横らないことになります。

株主・金融機関のコンビネーション率＜投資利回り
ざっくり書くと、こういう式がなりたたないと、
設備投資は失敗に終わります。

＊専門用語を使わず書いているので、イメージとして捉えてください。

2. では、＞だけでいいのか？

投資案件には、大小があります。

小さな機械から、工場などの大型の投資、さらには、他事業の買収まであります。

個々の案件に、YES、NOを出すだけなら、
＞かどうかを考えればいいのですが、
そこは、会社です。
いろんな設備投資等があるはずです。

では、その優先順位をどうつけていくのか？

これが、また、この魔物を使いながら、
考えていくことができます！

それでは、また次回に！

みなさまへ、手紙を書くつもりで書きます！

3.自己紹介

国仙悟志（こくせん さとし）　１９７４年７月９日、札幌市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、地方大手百貨店に入社し、店頭販売、販売促進、店舗運営、民事再生法手続関連部署にて勤務しました。
　在職中、室蘭店勤務で赴任していたときに、あまりにも時間があることがわかり、（正確に書くと、ビールと焼鳥が美味しく不摂生がたたり、健康診断の結果が悪く、人事部に呼ばれたのがきっかけ）産業能率大学経営情報学部通信課程を受け、卒業しました。勝間和代氏がメディアによく出ていたころで、早起きして勉強に励むという生活スタイルが話題になり、ワタクシも、早起きの習慣を手に入れました。このとき以来ずーっと早寝早起きを行っています。
　その後、中堅石油販売会社にて勤務し、その間に、中小企業診断士を取得し、２０１１年に独立開業、２０１４年に法人を設立しました。百貨店時代に経験したマーケティング、マーチャンダイジング（品揃え戦略）、プロモーション、企業再生、そして、石油販売会社で経験した中小企業の実体験。
これらの経験、さらには、開業後の活動、研究などが、今の仕事のベースになっています。

©中小企業診断士　国仙悟志　株式会社ブルームプラン